

みんなの力で命と暮らしを守ろう 1

今回から、防災・減災をテーマに、命を守るためにできる、さまざまな情報を紹介します。
 家族をはじめ、身近な人たちと情報を共有しましょう。

《問合せ》防災課 ☎23-1111

北但大震災

89年前の5月23日、大地震により多くの尊い命が奪われました。

大正14年(1925年)5月23日午前11時9分ごろ、マグニチュード6.8の地震が円山川河口付近で発生しました。この地震は、円山川流域、特に豊岡と城崎のまちに甚大な被害をもたらしました。

当時、建築物の大半が木造であり、地震の初動で建物の多くは一気に倒壊しました。また、地震の発生が昼時であったため、食事準備で火を使っていた民家や旅館では、家屋倒壊に伴い、瞬く間に火の手が上がり、多くの建物が消失しました。



▲大火災に見舞われた豊岡町市街地

◆北但大震災の被害

地域	全焼	全半壊	破損	死者	負傷者
豊岡	1,137 戸	1,312 戸	2,148 戸	136 人	581 人
城崎	611 戸	117 戸	167 戸	283 人	211 人
その他	-	336 戸	605 戸	1 人	-
合計	1,748 戸	1,765 戸	2,920 戸	420 人	792 人

できることから少しずつ…災害に備えましょう!

「緊急地震速報」が発表されたり、寝ている時グラツと揺れを感じたら、
あなたはどうしますか?

平成25年4月13日に発生した淡路島地震では、豊岡市も震度4を観測しました。皆さんは、あとき、どのような行動をとりましたか? いざというとき、どのような行動をとるべきか、どのような備えをしておくべきか家族・職場・地域で話し合しましょう!



1 家具の転倒防止から!

地震発生時、家の中では、地震の揺れでテレビが飛び、タンスや本棚が倒れてきます。阪神・淡路大震災では、亡くなった方のほとんどが倒壊した家屋、もしくは家具の下敷きによるものでした。

家具の固定は、住宅の耐震化と併せ一番優先順位の高い地震対策です(住宅の耐震診断と耐震の補助制度もあります)。

特に、寝室の安全を確保!

地震による生存確率を高めるためには、まず寝室の安全確保が必要です。寝ているときは無防備な状態で、危険が迫ってもすぐに対応できません。

【家具の固定以外の寝室の対策】

- 家具や棚の上に物を置かない
- 窓際に寝ない(窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る)
- スリッパや運動靴を用意しておく
- 停電時に自動点灯する非常灯を常備する

2 『我が家のルール帳』を作りましょう。

地震が発生したとき、あなたの家族はどのような行動をとりますか? あなたと大切な家族の命を守るため、日ごろから災害に備えましょう。

まずは「我が家のルールづくり」から始めてみませんか? 作成したルール帳は家族の目に付く場所に貼りましょう。

【例】我が家のルール帳(地震編)

- 緊急地震速報を見聞きしたら…揺れを感じたら…机などの頑丈な物の下で身を守る。
- 家族が離ればなれになったときの集合場所 ○○小学校
- 避難する際に気を付けること!
 - ・家のブレーカーを落とす。 ・鍵をかける。
- いざというときの持出しリスト
 - ・非常持出袋 ・財布 ・携帯電話
 - ・処方薬 など



【表紙写真】 4月8日、山王公園(山王町)で、西保育園の園児約50人が、花見を楽しみました。満開の桜の下、園児らは公園内を元気に走り回り、ドングリなどを拾いました。休憩時間には、友達と一緒におやつを食べました。

発行/豊岡市
 編集/政策調整部秘書広報課
 印刷/豊岡市印刷局

〒668-8666
 兵庫県豊岡市中央町2番4号
 URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(支所)
 竹野 ☎5247-1111
 出石 ☎5247-3111
 日高 ☎5442-1100
 城崎 ☎5442-1100
 但東 ☎5442-1100